平成23年度　佐賀市立循誘小学校　学校評価計画

1　学校教育目標
心豊かで、さわやかに、学び合う循誘っ子の育成　ー知。徳。体　3つのHを磨こうー

総括的な教育目標を、より具体的な児童生徒や教師、学校の「姿」としてイメージする

2　学校経営ビジョン
目指す子どもの姿 ○学び合う子　（知、HEADを磨く）　・話をよく聴く　・考えを出し合う　・読書に親しむ　・家庭学習ができる ○心豊かな子　（徳　HEARTを磨く）　・あいさつやていねいな言葉遣いができる　・整理整頓や後始末ができる　・思いやりをもち、助け合いができる　・時間を守る ○さわやかな子　（体、HEALTHを磨く）・早寝早起きができる　・しっかりと食べる　・外で遊ぶ　・自分の身を守ることができる

このうち、特に今年度力を入れるものを絞り込む

絞り込むに当たって、特に、前年度、「何ができて、何ができなかったか」を参考にする

3　本年度の重点目標	4　前年度の成果と課題
①　子どもたちが、毎朝、希望と意欲をもって登校する学校にする ②　保護者や地域から親しまれ、信頼される学校にする ③　職員に、元気がある学校にする	・全職員の意識が高まり主体的に算数科の授業研究を進めることができ、意欲的に取り組む児童も増えてきた。地域やPTAとの連携も強く、家庭・保護者の協力も得られる部分が多くなってきている。 ・個別に支援が必要な児童への適切な支援が課題である。

重点目標をそれぞれ再掲し、
重点目標ごとに、成果や課題を具体的に評価するためには、どのような評価項目や指標を盛り込むべきかを

5　総括表

①　子どもたちが、毎朝、希望と意欲をもって登校する循誘小学校にするために

	評価項目	評価の観点（具体的評価項目）	具体的目標	担当	具体的方策
学校運営	学校経営方針	本年度の学校目標・目指す子ども像への育成	教職員、児童、保護者に周知し、達成に向けての評価を75%以上にする	教頭	・お便り、PTA総会、学級懇談会等で説明する。 ・ホームページで公開する。 ・職員会議、全校集会等で説明する。
教育活動	学力の向上	個に応じた指導・わかる授業にむけた指導方法の工夫・改善	すべての職員が研究授業を実施する。 3～6年生の算数の指導に少人数・TT学習を取り入れきめ細かな授業実践を行う。	研究主任	・各学年で重点目標を設定し、授業力向上に向け研鑽を積み、全職員が1回以上の研究授業を実施して、研究を深め個の学力向上に生かす。
教育活動	心の教育	道徳的実践力の育成 思いやりの心の涵養	全職員が年1回以上授業参観で道徳の授業を公開する。	教務	・人権・同和教育の視点をふまえた道徳の実践
教育活動	健康体力作り	望ましい生活習慣の形成	早寝・早起き・朝ご飯の定着を図るため、保護者への啓発を行う。 食事調査を行い正しい食生活を身に付けさせる。	食育 養護	・生活リズムを見直すためのアンケート等を実施し、望ましい就寝・起床時刻を確立する。 ・PTAの協力を得て朝ご飯を食べる取り組み学校全体で行う。

②　保護者や地域から親しまれ、信頼される循誘小学校にするために

領域	評価項目	評価の観点（具体的評価項目）	具体的目標	担当	具体的方策
学校運営	開かれた学校づくり	開かれた学校づくりの推進	学校参観・フリー参観デーなど諸行事への保護者の参加率70%以上をめざす。 参観日や行事等の際に、校外ボランティア・PTA等にアンケート調査を行い、出された意見や要望を学校運営に生かす。	教頭 教務	・プライバシーに配慮しながら、個々の問題に丁寧に対処する。 ・担任・担当より参観・参加率が高まるように呼びかけ工夫する。 ・PTAや地域への協力養成も行う。
学校運営	安全管理	施設設備の安全が確保	各担当が責任をもって毎月安全点検を正確に実施する。 速やかに修理、改善を行う。	安全点検	・防犯・施設設備の要修理・補修箇所を早期に発見し点検作業をする。 ・最終チェックは管理職と担当で行い確実なものにする。
教育活動	地域との連携	郷土への愛着心の高揚	地域と連携した学習を行い、地域の歴史や文化、人との関わりを学ぶ。また、発信もしていく。	教務 総合 生活	・地域とのふれあいや調べ学習をとおして、地域の歴史や文化に親しむようカリキュラムを作る。
教育活動	幼保小・小中連携	幼保小の連携 城東校区地域教育推進プロジェクトの充実	地域の保育園幼稚園の授業参観に出向き、就学前の様子を知る。 学年ごとに地域の保育園幼稚園との交流活動を行う。 プロジェクト4部会の充実を図る。	教頭 教務 研究主任 教育相談 生徒指導	・「えがお」「わくわく」の活用を図る。 ・保育園や幼稚園と行事や学習を連携して行う。 ・プロジェクトの4部会の年間計画に沿って情報交流して協働して推進する。

③　職員に、元気がある循誘小学校にするために

領域	評価項目	評価の観点（具体的評価項目）	具体的目標	担当	具体的方策
学校運営	校内組織・校内分掌	学校運営が充実する組織	三部会（生徒指導部・教育相談部・縦割り活動）の定期的な活動と部員同士の連携の充実により課題解決に向かう。	3部会部長	・分掌内容・活動実態を見極め、効率的・協働的な組織の再編を図る。 ・全校児童を全職員で育てるという意識をもち、報告・連絡・相談と共通理解のもとに同一指導を図る。
学校運営	健康管理意識	各業務の効率化	会議などの時間短縮 定期健康診断の推進 勤務時間の適正化	教頭	会議の開始終了時刻の確認、内容の戦線。 各業務の工夫改善の紹介と見直しを図る。 職員相互の協力で必要時に年休を取り易くする。

本年度の重点目標の評価項目として含まれていない共通評価項目がある場合に記入する。

本年度の重点目標に含まれない共通評価項目

領域	評価項目	評価の観点（具体的評価項目）	具体的目標	担当	具体的方策
教育活動	小学校低学年の学習環境の改善充実	小規模学級による学習慣・生活習慣の定着	「学びのやくそく」の徹底やスキルタイムによる学習の構えをつくる。	低学年部部長	・生活点検アンケートやスキルタイムの内容を検討し、学習習慣の定着を図る。 ・帰りの会での振り返り，お便りや連絡帳などにより家庭との連携を図る。